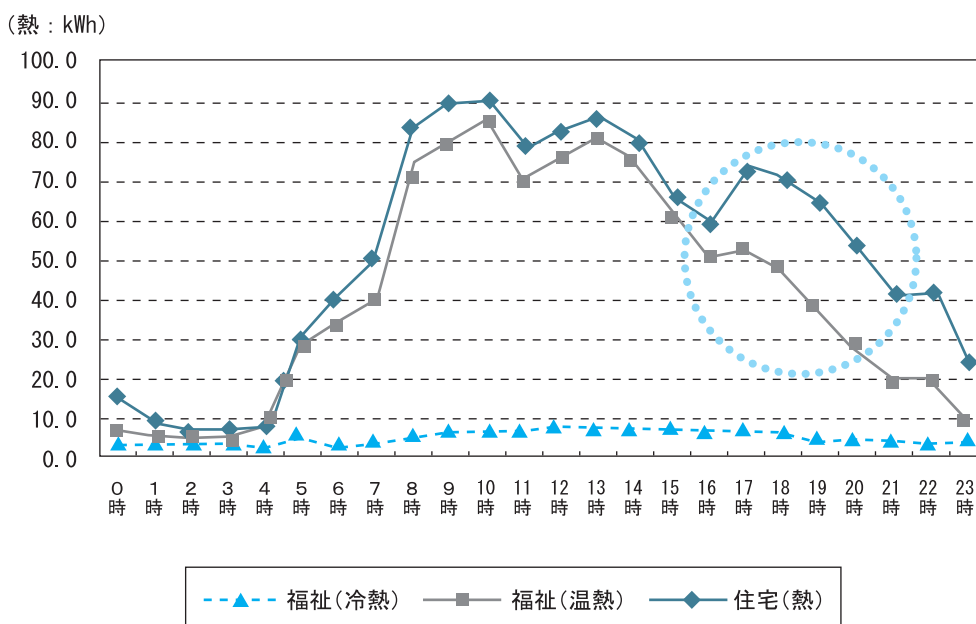


仮に、先に示した「医療・福祉業③」と、周辺の「一般戸建住宅（灯油未使用）タイプ」20世帯でこのようなシステムを構築した場合、夏期の「医療・福祉業③」における熱需要は夜間になると急激に減少するが、この時間帯にピークのくる住宅系の熱需要が加わることで、熱需要の減少は緩和されている。

例えば、「医療・福祉業③」の熱需要が総じて少ない中間期の組み合わせを見てみると、この様子がより顕著に現れる。



医療・福祉系の施設と一般家庭20世帯の熱需要の組み合わせ（中間期）

この結果からも、施設単独でコジェネレーションシステムを構築するよりも、多様な施設を組み合わせの方がエネルギー効率の良いシステムを整備していくことにつながると考えられる。